

新刊紹介



VRインパクト

知らないではすまされない
バーチャルリアリティの
凄い世界

著者：伊藤裕二
発行：株式会社 ダイヤモンド社
仕様：四六版 224ページ
定価：1,500円（税別）

「バーチャルリアリティ（VR）＝仮想現実」が、シミュレーションの手段として、私たちが向き合っている現実のビジネスの現場に応用されている。

VRの世界であれば、見えないものを見えるようにすることが可能なのである。例えば「風」。建設業界では、ビルを建てるときに高さや大きさ、建物の形状や材質によってその建物周辺を吹く風がどのように変化するのかを解析する。この工程を怠ると、実際にビルが竣工してから強いビル風に悩まされることになりかねない。そこで、風そのものに着色して目視できるようにし、更に風向きや風速なども見ただけでわかるようにすることがVRでは実現可能なのである。これにより引き渡し後のトラブル発生を未然に防ぐことができるのだ。

その他にも、VRの世界で鳥のように空中を散歩したり、脳波で運転画面を制御す

るドライビング・シミュレータやシミュレーションを用いた住民同士の対話による街づくりなど、VRの技術はビジネスの様々な場面に多数応用されているようだ。

今回紹介する本は、そのVRの技術に取り組んできた著者の伊藤裕二氏が、自身が社長を務めている(株)フォーラムエイトが土木・建築設計支援ソフトウェアの開発からVRの業界に進出した経緯など、これまでどのようなことに取り組んできたのか、今どんなことに挑戦しているのか、そして、それがどんな可能性を秘めているのかなどを取引企業による実際の導入事例をあげながら紹介している。

そこから、わが国のソフトウェア産業の抱える課題と、これからVRの技術によってビジネスがどう変わっていくのかを読み取っていただきたい。